

授業科目	運動学総論				
担当者	長谷川昌士（実務経験者）				
実務経験者の概要	大学病院（急性期・回復期）でのリハ医療（運動器疾患及び中枢性疾患）に10年以上従事していた臨床経験があり、現在は高齢者及び障がい者の地域福祉に従事している。また、福祉工学に関する動作解析や筋電図解析を研究基盤としている。				
学科名	作業療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	2 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

関節の基本構造と機能を学習する。運動器である上肢の運動、下肢の運動、脊柱・体幹の運動について理解を深める。

■ 到達目標

1. 筋骨格系の構造・機能と関節運動との関係
2. 運動技能を獲得するうえでの運動学習の理論的枠組み
3. 運動を継続するためのエネルギー供給機構について

■ 授業計画

- 第1回 コースオリエンテーション
- 第2回 運動器の構造と機能1
- 第3回 運動器の構造と機能2
- 第4回 肩複合体の運動学1
- 第5回 肩複合体の運動学2
- 第6回 肘関節・前腕の運動学1
- 第7回 肘関節・前腕の運動学2
- 第8回 肩・肘関節・前腕についての演習
- 第9回 手関節・手指の運動学1
- 第10回 手関節・手指の運動学2
- 第11回 手関節・手指の運動学3
- 第12回 手関節・手指についての演習
- 第13回 股関節の運動学1
- 第14回 股関節の運動学2
- 第15回 膝関節の運動学1
- 第16回 膝関節の運動学2
- 第17回 足関節・足部の運動学1
- 第18回 足関節・足部の運動学2
- 第19回 下肢についての演習
- 第20回 脊柱・体幹の運動学1
- 第21回 脊柱・体幹の運動学2
- 第22回 脊柱・体幹についての演習
- 第23回 顔面と頭部の運動学1
- 第24回 顔面と頭部の運動学2
- 第25回 運動学習1
- 第26回 運動学習2
- 第27回 運動学習についての演習
- 第28回 運動のためのエネルギー供給機構1
- 第29回 運動のためのエネルギー供給機構2
- 第30回 最終確認試験と振り返り

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）80%】 講義中毎回実施の振り返りテスト 20%
小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業内容は必ず教科書、参考書で見直し、学習したことを授業ノートに追記しておくこと。

■ 教科書

書名：15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学
著者名：石川朗 種村留美 小島悟
出版社：中山書店

■ 参考図書

書名：筋骨格系のキネシオロジー
著者名：嶋田智明ほか監訳
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

無断欠席や遅刻に注意してください。

■ 講義受講にあたって